

# 科学で探る こどもの 事故予防策

—誤飲・誤えんによる事故—



## そばで見守っていても、 防ぐのが難しい子供の事故

事故を予防していくためには、  
子供の成長・発達段階に応じて、  
「**危ないところを変える**」という考え方の下、  
子供を取り巻く環境そのものを見直していく  
ことが重要です。

今回、子供の“誤飲・誤えんによる”事故  
について、**科学的視点**から**事故の実態**を  
解明し、**実践的な予防策**を取りまとめました。

誤飲：本来飲み込まないものを間違えて飲み込んでしまうこと

誤えん：食物などが誤って気管等に入ってしまうこと

# 目次

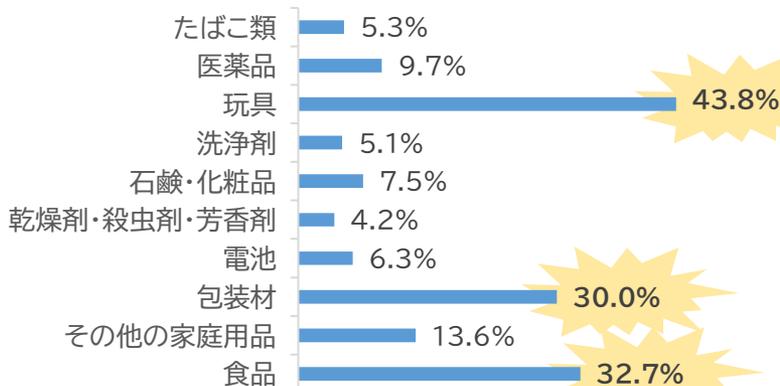
---

- 子供の誤飲・誤えんによる事故の実態 … 3
- 提言：科学的視点から、  
誤飲・誤えんによる事故を予防 … 5
- 子供の成長・発達段階ごとの特徴と事故事例 … 14

# 子供の誤飲・誤えんによる事故の実態

子供が誤飲・誤えんした対象として最も多い物は「玩具」で、これに「食品」「包装材」などが続く

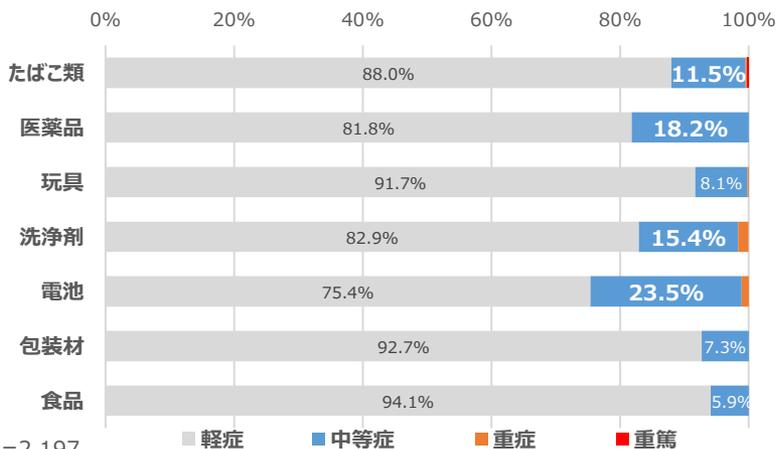
0歳～6歳の誤飲・誤えんしたもの



n=2,176

誤飲の事故は軽症が多いが、中でも「電池」や「医薬品」「洗浄剤」「たばこ」では中等症以上の割合が高い

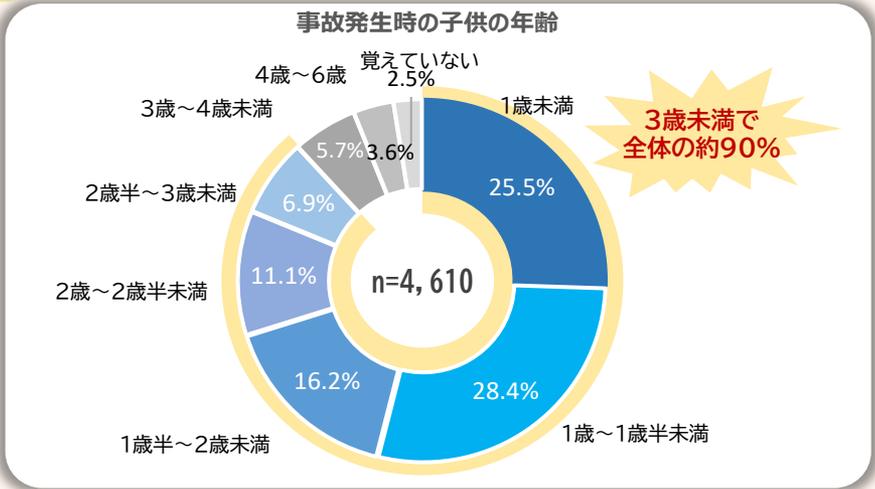
事故起因物ごとの収容所見程度(重症度)別割合



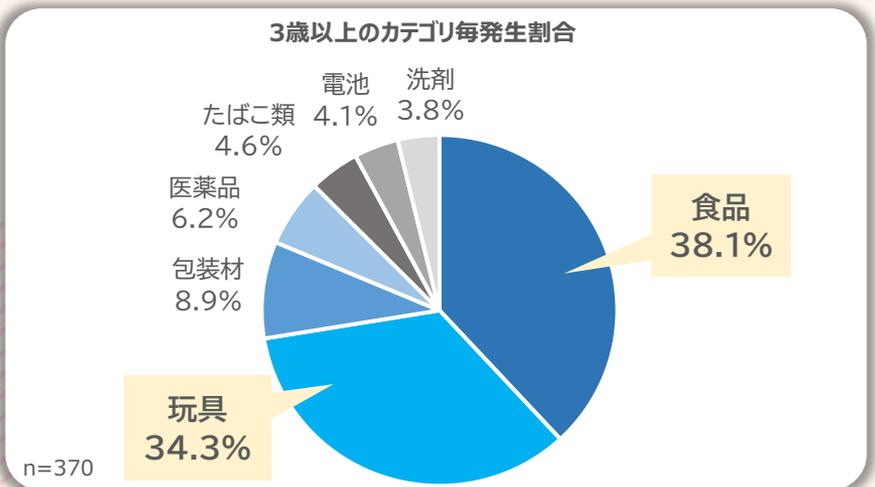
n=2,197

# 子供の誤飲・誤えんによる事故の実態

事故（ヒヤリハットを含む）発生時の子供の年齢は、**3歳未満が全体の約9割**を占める



**3歳以上であっても「玩具」と「食品」では多くの事故が発生！**  
食材を細かく切って与えても、泣いたり笑ったりした拍子に誤えんする事例もみられる



## エビデンス

## 事故予防策

提言  
1

130cmの高さに保管していても  
事故が起きる\*

\* 1歳8か月の子供の例

収納場所の高さに加え、  
施錠等の工夫をする

提言  
2

3歳半以降、床の物を拾う等の  
行動は減るが、大人が触れた物  
への関心は高いままである

口に入れると危険な物は、  
使った後に放置しない

提言  
3

誤えんしやすい食品は  
0.1秒で気管に詰まる

落ち着いてゆっくり噛みながら  
食事をさせる

提言  
4

CR包装\*は、誤飲につながる  
幼児の行動を約9割防止する

子供が開けにくい仕組みを  
備えた製品を活用する

\*チャイルドレジスタンス包装（Child-Resistant Packaging）の略で、小さな子供が容易に開封できない構造を採用することで、誤飲等の事故を防ぐ安全機能付き包装のこと

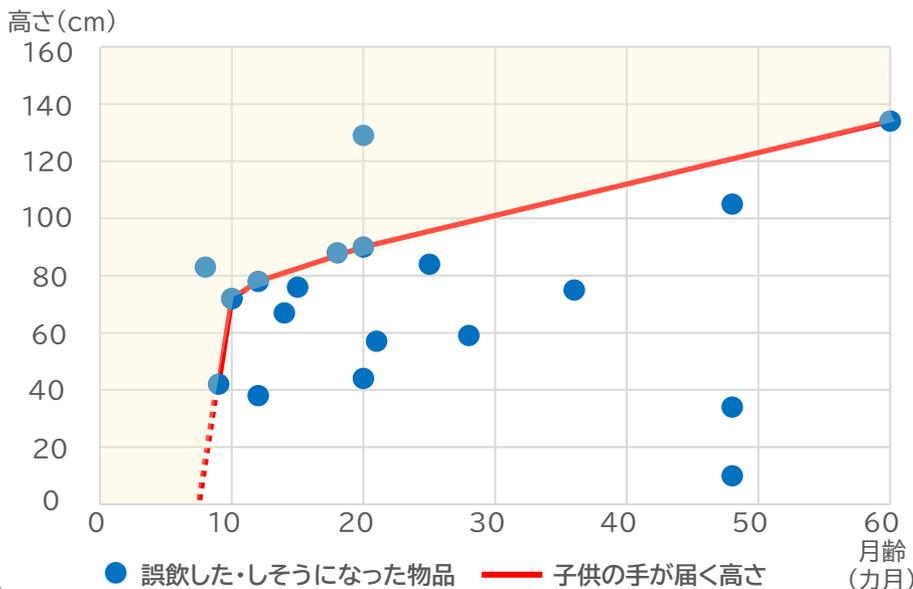
## エビデンス

# 130cmの高さに保管していても 事故が起きる

- 訪問調査の結果、**子供の手が届かない高さ**<sup>※</sup>に保管していたにもかかわらず、ヒヤリ・ハットや**事故につながっている**ことが判明

※ **1歳**8か月の子供が**踏み台**を使って**129cm**の高さに到達

### 誤飲した・しそようになった物品の高さと子供の年齢



## 事故予防策

### 収納場所の高さに加え、施錠等の工夫をする

- 子供は、**足場になるものを用意し手を伸ばすため、高所に保管するだけでは事故を防ぐことはできない**
- 子供に触れてほしくない物は、**鍵のかかる場所や、ベビーゲートの先など子供が入れない場所に保管することが重要**

### 具体的な予防策（例）

**医薬品や洗剤等の保管には、  
鍵付きの箱やベビーゲートを活用する**

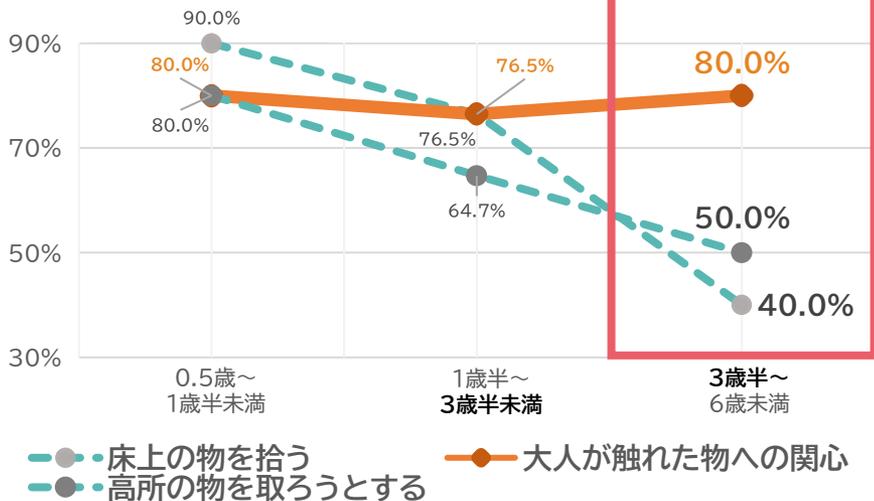


## エビデンス

3歳半以降、床の物を拾う等の行動は減るが、**大人が触れた物への関心は高いまま**である

- 乳幼児がいる家庭を訪問し、誤飲につながる子供の行動について聞き取りを実施
- 床の上や高い場所の物を探索する様子は3歳前後を境に減少する一方で、**大人が触れた物に対する興味関心は3歳半以降も高い**ことが判明

年齢区分別の子供の行動特性



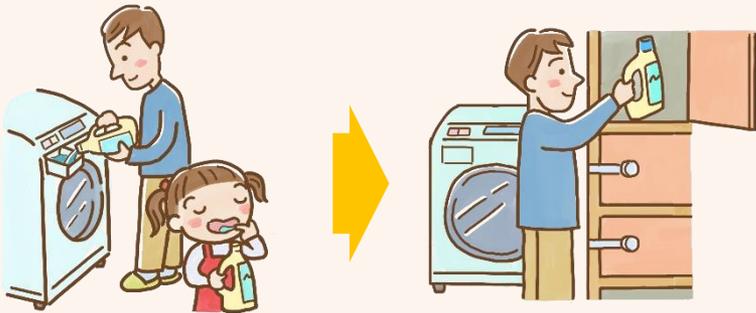
## 事故予防策

### 口に入れると危険な物は、 使った後に放置しない

- 3歳を過ぎても、**保護者や兄弟などが触れた物に興味を持ち**、口に入れてしまう危険性がある
- たばこや洗剤など、子供が使用しないものについても**出しっ放しにせず**、適切に管理することが大切

### 具体的な予防策（例）

**洗濯用洗剤は使うときだけ取り出し、  
使用後は施錠できる棚等に片付ける**

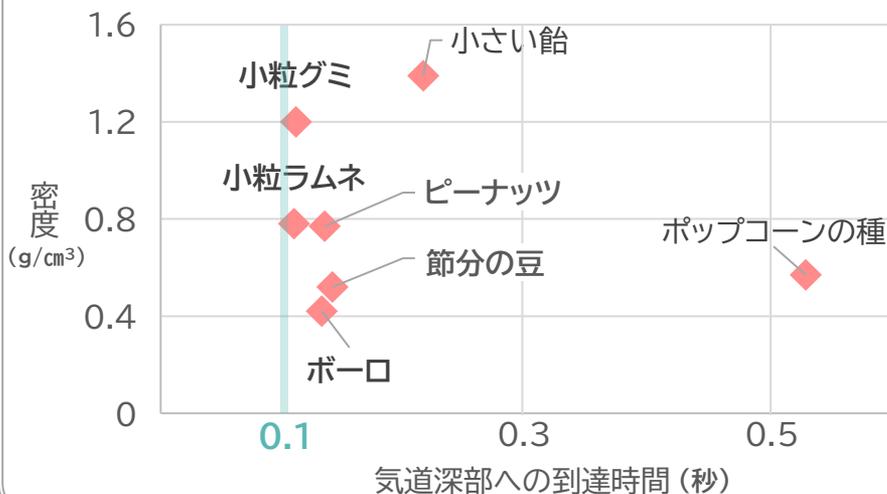


## エビデンス

誤えんしやすい食品は**0.1秒で気管に詰まる**

- 子供が空気を**吸い込む力**や、食品が**気管の奥に到達するまでの時間**を計測し、誤えんにつながる危険性を**食品別に分析**
- 小粒ラムネや節分の豆などの**小さく軽い食品**は、気管に入り込みやすく、**最短約0.1秒で気道深部に到達**することが判明

食品の密度と気道深部への到達時間



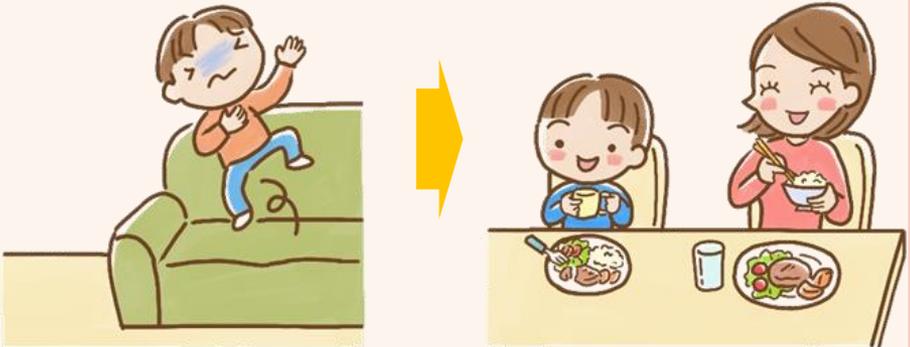
## 事故予防策

# 落ち着いてゆっくり噛みながら食事をさせる

- 泣く・笑う等によって瞬間的に吸い込む力が高まると食品が一瞬で気管に入り込むため、誤えんする前に気づくことは困難
- 立ち歩かず、よく噛んで、落ち着いて食事をし、状況に応じて中断することも必要

## 具体的な予防策（例）

食事やおやつは座って食べるようにし、泣き出した場合などは食事を中断する



## エビデンス

**CR包装<sup>※</sup>** は、誤飲につながる幼児の行動を約9割防止する

- **CR機能を備えたピルケース**等を子供が開けようとする様子を観察し、**開封に要する時間を計測**
- 5歳前後から開封率が高まるが、全体では**約9割**の子供が**開けることができなかった**

### CR機能付きピルケース・個包装の開封率

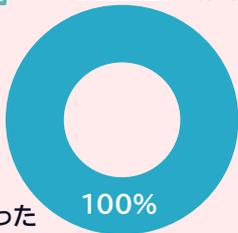
#### CR機能付きピルケース



蓋を押し回して開封

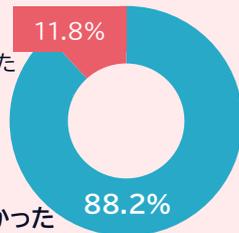
開封  
できなかつた

5歳未満 N=14



開封できた

5歳以上 N=17



11.8%

開封  
できなかつた

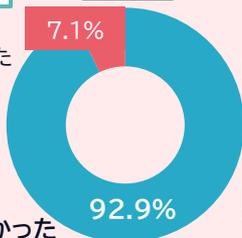
#### CR機能付き個包装



チャックの内側に  
指を入れて開封

開封できた

5歳未満

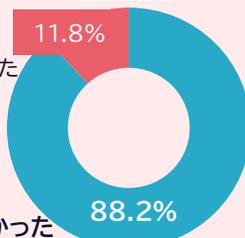


開封  
できなかつた

7.1%

開封できた

5歳以上



開封  
できなかつた

11.8%

※ 5歳未満：月齢47～58か月の子供、5歳以上：月齢71～82か月の子供

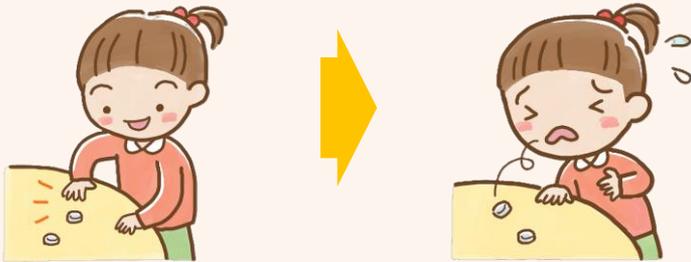
## 事故予防策

### 子供が開けにくい仕組みを備えた製品を活用する

- **CR機能を備えた容器**を使用することで、誤飲につながる子供の行動を抑制することができる
- ボタン型電池や医薬品など、飲み込むと重症化しやすい物は、**子供では取り出しにくいパッケージの製品等を活用**することが大切

### 具体的な予防策（例）

**パッケージに誤飲防止機能が付いた製品や、表面に苦み成分が塗布されたボタン型電池を選ぶ**



# 子供の成長・発達段階ごとの特徴と事象事例

## 子供の運動機能等の目安×都内で発生した事象事例

### 乳児期

(出生～1歳未満)



手の届く範囲の物を  
なんでも口に運ぶ



### 幼児期前期

(1歳～3歳頃)



好奇心旺盛で集中力が持続  
せず、感情の起伏も大きい

### 事例①



床に放置された殺虫剤  
スプレースプレーのノズルを舐めた

### 事例②



イチゴを口に入れたまま  
大笑いして詰まらせた

## 事事故事例と予防策

### 事例①

夕食の準備中、リビングで遊んでいた**10か月**の子供が床に放置された殺虫剤のノズルを舐めた



### 予防策①

床の上に物を放置せず、背の低い棚の引出しなどに危険なものを保管しない



### 事例②

2歳の頃、細かく切ったイチゴを食べている時に**大笑い**し、イチゴのかけらが詰まった



### 予防策②

落ち着いてよく噛んで食べ、泣いたり笑ったりした場合は**食事を中断**する



# 子供の成長・発達段階ごとの特徴と事件事例

## 子供の運動機能等の目安×都内で発生した事件事例

### 幼児期後期 (3歳～4歳頃)



保護者や兄弟を  
模倣して行動する

### 事例③



母親のポーチから薬の  
シートを取り出した



手指操作機能が発達

### 事例④



パッケージを開けて、  
ボタン型電池を口に入れた

## 事事故事例と予防策

### 事例③

母親のポーチから薬のシートを取り、錠剤を取り出していた



### 予防策③

医薬品は服用時に取り出し、**服用後は鍵付きの箱**(救急箱)などに片付ける



### 事例④

引出しにしまっていた**ボタン型電池**のパッケージを開けて電池を口に入れた



### 予防策④

特に危険なものは、**CR包装**を活用して慎重に管理する





編集・発行 / 東京都子供政策連携室  
企画調整部 企画調整課

〒163-8001  
東京都新宿区西新宿二丁目8番1号  
電話 03(5388)3812

※ 掲載の情報は令和8年3月現在のものです。  
※ イラスト・画像はすべてイメージです。  
※ 本冊子掲載のイラスト・図の無断複製・転載・  
複写・借用などは著作権法上の例外を除き禁じます。